

2025年度 山口県立宇部商業高等学校 部活動運営方針

1 ねらい

《運動部》

- (1) 学校教育の一環として、本校の教育目標に沿った活動を通して、体力や技術の向上を図る。
- (2) 強化種目においては、全国で活躍できるアスリートの育成に向けた、競技力の向上と人間形成に努める。

《文化部》

- (1) 学校教育の一環として、本校の教育目標に沿った活動を通して、芸術文化やビジネスに関する知識・技術の向上を図る。
- (2) 興味・関心を同じくする活動を通して、リーダー性、協調性、社会性等を育む。
- (3) 生涯にわたって芸術文化やビジネスの諸活動に親しもうとする態度や、その基礎を養う。

《運動部・文化部共通》

- (1) 異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図る。
- (2) 学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感等の涵養を図る。
- (3) さまざまな価値や自己の生き方について考え、幅広い視野に立って自らのキャリア形成を考える。

2 活動内容

(1) 運営について

- ① 顧問は、主将・部長や保護者等と連携し、円滑な運営を心がける。
- ② 必要に応じて部活動顧問会議等を実施し、課題解決や情報共有、部活動運営における意思の疎通に努める。
- ③ 必要に応じて、主将・部長会議、部活動集会等を開催し、努力目標などの共通化・意識化を図る。
- ④ 部活動懇談会を開催し、保護者と顧問による円滑な運営について共通理解を図る。
- ⑤ 部活動全体の推進を図るため、部活動顧問のまとめ役として運動部部長及び文化部部長を配置する。

(2) 活動について

- ① 活動方針及び活動計画等に沿って、計画的に活動する。
- ② 活動計画は、概ね翌月が始まる2週間前までに作成し、生徒及び保護者等に周知する。
- ③ 原則として、顧問指導の下、活動を行う。(出張等で不在の場合は、責任の所在を明確にする。)
- ④ 安全管理には十分留意した活動を行うとともに、怪我等が起きた場合は速やかに処置を行い、適切に対応する。
- ⑤ 使用する設備の点検及び整頓・清掃、校舎の施錠等は顧問が責任をもって行う。

(3) 休養日について

- ① 学期中は、原則として週当たり2日以上以上の休養日を設け、1日は土日とするように努める。
ただし、必要に応じて週当たり1日以上以上の休養日とすることができる。その際は、生徒の健康状態に十分配慮するとともに、他の期間において適切な休養日の設定に努める。
週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
- ② 長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。また、長期の休養期間(オフシーズン)を設けるように努める。

(4) 活動時間

- ① 1日の活動時間は、原則として学期中の平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、学習時間の確保に努める。
ただし、競技性や部活動の特性、大会シーズン等のため原則を超える場合も、できる限り効率化に努める。
- ② 考査時間割発表から考査終了までの活動は、1時間程度とし、可能な限り学習時間の確保に努める。
ただし、大会前等で1時間を超える活動が必要な場合、校長の許可を得て時間を延長することができる。

(5) 入部について

- ① 部活動見学、体験入部等を行い、部活動を選択する機会を設ける。
- ② 1年生については、部活動紹介を実施し、部活動の目的・方針・活動内容が理解できるよう努める。

3 その他

- (1) 宇部商業高校の一員としての誇りを持って、校内外で品格のある行動に努める。
- (2) 地域から愛される部活動を目指し、積極的に地域貢献に努める。
- (3) 各部が個別に徴収する部費等については、保護者等に対し、速やかな連絡や決算報告等を行うものとする。
- (4) 感染症対応については、地域の感染状況や国・県から出される感染症対策を踏まえて拡大防止対策の徹底に努める。